



## エジプトアラブ共和国の教育： 教員養成機関の改革を中心に

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2008-05-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, 有 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.32150/00004866">https://doi.org/10.32150/00004866</a>

## エジプトアラブ共和国の教育

－教員養成機関の改革を中心に－

佐藤 有

北海道教育大学岩見沢校教育学研究室

### <構成>

1. 教員養成改革－師範学校教育から大学教育へ
2. 大学教育学部における教員養成－小学校、準備学校（中学校）、普通高等学校教員の養成
  - 2.1 基礎教育学部（university faculties of basic education）の設立
  - 2.2 準備学校および普通高等学校（アカデミック教科）の教師養成
3. 特別教育学部の教員養成
  - 3.1 特別教育学部（specific college of education, faculty of qualitative education）の設立  
－大学教育学部でカバーできない教科領域の教師養成
  - 3.2 芸術、音楽、家政、体育等の教員養成
  - 3.3 幼稚園教員養成
  - 3.4 特殊教育（Special education）教師の養成（小学校、準備学校の場合）
  - 3.5 ダミエッタ特別教育学部
4. 大学レベルにおける技術高等学校および職業学校教員養成へ
  - 4.1 技術高等学校（農業、商業、工業）教師の養成－教育学部の教育デプロマ要請
  - 4.2 特に工業高等学校教員養成教育について－新しいタイプの工業大学への模索
  - 4.3 職業準備学校教員の養成
5. その他の教員養成
  - 5.1 コンピュータ教師の養成－国家教育工学プログラム（NET PROGRAMME: National Education Technology Programme）
6. 結びにかえて－教員養成における諸問題
  - (a) 注
  - (b) 資料

### 1. 教員養成改革－師範学校教育から大学教育へ

エジプトでは1988年2月4日付け教育省令第24号により、幼稚園から高等学校に至る教員養成（pre-service education）は全て大学レベルで行われることになった。すなわち、それまで幼稚園および小学校の教員養成は主に師範学校（Teacher Training Institutes）で行っていたが、大学レベルで行われることになった。

この改革で特徴的なことは小学校の算数、理科、国語、社会などの教師養成は自治権を有する総合大学の教育学部で、図工、家庭、音楽、体育などの教師養成は高等教育省が管轄する特別教育学部（specific faculties of education, faculty of qualitative education）で行われるようになったことである。また、高等学校の教員は大学の教育学部以外でそれぞれの専門を修めただけで教員になれたが、新しい制度では専門終了後さらに大学の教育学部にて教育学を修めることとしたことである。さらに技術高等学校教員養成のための新しい大学の創設である。そうした一連の改革のねらいは、教員養成における質のレベルアップと教員不足の解決にある。

以下、本稿ではエジプトにおける幼稚園、小学校、準備学校、高等学校教員養成のためのそうした改革の断片について紹介する。（注1）

## 2. 大学教育学部における教員養成—小学校、準備学校、普通高等学校教員の養成

### 2. 1 小学校教員の養成—基礎教育学部（university faculties of basic education）の設立

1988年まで小学校教師の養成は主に師範学校で行われていた。（資料1）師範学校は男子師範と女子師範に分かれており、それぞれ中学校修了証書（preparatory certificate）を有した者を受け入れ、5年間の教育課程を履修した者に小学校教員証書を授与する教育機関であった。しかし、1988年9月6日に教育省令第966号が出され、教育学部に小学校教員コースが設立され、師範学校は廃止された（1989年から募集停止、最終卒業生は1993年卒業）。このコースは、1988-89学校年度始まりの時点で全国17の教育学部に配置された。

これらの17の教育学部における小学校教員コースに続き、1995-96学校年度までに計23に至る教育学部に小学校教員コースが設立された。

これらの大学の中で、アンシャムズ大学とスエズカナル大学（ポートサイド校）は、特殊な位置を占め、小学校教員養成と準備学校教員養成の2つのコースが設置されている。（アンシャムズ大学の場合は教育学部基礎教育コース [Division of Basic Education] として、またスエズカナル大学の場合は基礎教育学部 [Faculty of Basic Education] として設置されている。特にアンシャムズ大学は、日本のかつての東京文理大学的な存在であり、エジプト教育界にあってその歴史と規模の大きさを誇っている。）

小学校教員コースでは小学校の1年から3年までの児童を教えるための教員と、4年と5年を教えるための教員を養成する。（エジプトでは小学校3年までが学級担任制であり、4年と5年は教科担任制である。前者の期間の教育目的は、基礎的な読み書き、簡単な計算、及び宗教活動である。後者の期間の教育目的は、基礎的な学習をさらに進め、知識を日常生活で活用することとなっている。）

23のいずれの学部も4年制で、入学条件として普通高等学校修了証（GSSC: Graduate Secondary School Education Certificate）の保持者であることと、それぞれの学部によって行われるインタビューにパスすることが求められる。

1988年改革以前の教育制度下で学んだ5年制師範学校の卒業生（男女）も、小学校の教師になるために教育学部への道が開かれている。その修業年限は4年である。

### 2. 2 準備学校および普通高等学校（アカデミック教科）の教師養成

1992-93学校年度のデータによれば、準備学校教員は大学の教育の学位を有するものが中心を占める。一方、高等学校教員はやはり大学の教育の学位を有する者が中心を占めるが、大学出で他の学位を有しはするが、教育の学位を有しないものの割合が多い。

準備学校および普通高等学校の教師はそれぞれの県にある教育学部で養成される。資料4に示されているように、1994-95年度において全国の教育学部の数は26に及ぶ。この数字は宗教学校であるアズハル大学教育学部と、国立で1994年設立の、(この段階ではまだ学生を有しない)アシュート大学教育学部を含む。また、先に述べた小学校教員養成および準備学校教員養成の両コースを有するアンシャムズ大学教育学部とスエズカナル大学ポートサイド校基礎教育学部を含んでいる。名称としては、カイロ大学のみ University ではなく Institute of Educational Studies Researches となっている。これは独立した大学院大学のためと考えられる。

1994-95年度において、全国の学部学生総数は101,317人である。同年度の新入生数は23,630人である。同年の大学院の新入生数は16,934人であり修了者数は7,041人であり、決して少ない数ではない。一方、教官数は極めて少ない。

いずれの学部も入学条件は普通高等学校修了書(GSSC)を有すること、大学及び高等学院登録調整局(Bureau of Enrollment Coordination at Universities and Higher Institutes. 以下BCHI.)による指名をうけること、そして教育学部で行われる個人インタビューにパスすることである。

履修期間は4年間で、課程を満した暁には芸術および教育学士(B. A)、ないしは芸術および教育(B. Sc)が授与される。

1988年度改革以前は、教育学部外のいずれの学部を卒業するだけで(学士で)直ちに教員になることができた。しかし新制度では教育デプロマを有することが義務づけられた。したがって、教育学部以外で専門を修めた者はさらに教育のデプロマを獲得することが求められるようになった。そうした学生のために、全国の教育学部およびカイロ大学教育学部(Institute of Educational Studies Researches)に、1年間のフルタイムコースと2年間のパートタイムコースを設けている。(カイロ大学の場合、フルタイムコース定員20名、パートタイムコース定員250名。)入学資格は大学卒業資格を有し、かつ個人インタビューにパスすることとなっている。しかし現制度においても改革前同様、教員採用試験なるものはない。

筆者はカイロ大学教育学部、カイロ大学教育学部ベニスエフ分校を訪れる機会に恵まれた。カイロ大学教育学部については、図書に良質のジャーナルが購入されていたが、整理の仕方が悪く、埃を被っているものが目立ち、有効に利用されているようには思えなかったことが印象的であった。(注2)またカイロ大学教育学部ベニスエフ分校については教授陣の不足、学生数の過多、校舎の狭さが印象的であった。(資料3)

### 3. 特別教育学部の教員養成

#### 3. 1 特別教育学部(specific college of education, faculty of qualitative education)の設立

##### —大学教育学部でカバーできない教科領域の教師の養成

特別教育学部は、大学前教育における絵画、音楽、家政、教育工学、教育メディア、小学生の英語、単級学校(one class-room school)の領域の教員養成を行っている。さらに優秀児や、心身障害児のための教員養成もカバーしている。同学部設立の理由は、かつてはこの領域の教員養成は師範学校で行われていたが、師範学校廃止によりそれに代わる機関が求められたということである。もともとこれらの領域の教員が不足していたのでそれに応えるということにもよる。(後に触れるように、ヘルワン大学なども音楽部、芸術学部、家政学部を有しているがこれは教育学部とは異なる。学生数も少なく、かつ学生は教員になることを望まない傾向をもつ。)

最初の特別教育学部は1988-89年に設立されている。アバッシア特別教育学部、ドッキ特別教育学部、アレキサンドリア特別教育学部、ドッキ幼稚園学部、アレキサンドリア幼稚園学部の5つである。

1993-94学校年度までに、上記のものを含めて17の特別教育学部と2つの幼稚園学部が設けられている。それらの学部名および設置学科名は資料(3)の通りである。資料の読み取りで注意を要するのは、特別教育学部の中には幼稚園学科を有しているものと、その他に2つの独立した幼稚園専門のカレッジがあるということである。これらの施設は、かつて音楽、芸術、家政等の学科を有していたの師範学校の施設をそのまま使用していることが多く、従って大学レベルのものとしては極めて不十分のようである。特別教育学部の1994-95学校年度の講座別新入生数は資料(4)の通りである。この年度には全国総計5,973名の学生が入学している。家政科、幼稚園、単級学校講座には男子学生が存在しないこと、逆に体育教育講座には女子学生が存在しないことが特徴的である。美術教育、音楽教育、英語教育メディア講座での女子学生の優位が目立つ。男子学生は教育工学講座での優位が目立つ。

特別教育学部の学生は地元の学生が多くを占め、就職率も高いと言われている。さらには特殊能力を持ち合わせているので教職以外からの求職があると、言う。また海外からの求職もあると言う。

エジプトでは大学卒業生の公務員への就職は労働省によって管理され、学生の就職は約束されている。しかし多くの場合は卒業後すぐに職につけることは少ない、といわれる。だが特別教育大学の場合、教員不足という事態の解決のために、またもともと地域に密着した教育の貢献するために設けられたため(その地域の学生をとるようである)就職がよい、ということになる。

特別教育学部は高等教育省の管轄下に置かれ、大学の教育学部とは異なり自治権を有しない。教育学部とは異なり教員養成のための統一カリキュラムが決められている。教育省が教育改革を進めたりする際には政策が浸透しやすい高等教育機関であるといえる。

しかし特別教育学部は学士の学位を授与する資格を有するだけではなく、大学院も(修士、博士)を併設している。また大学に劣らない水準維持のためのルールも設けられている。

### 3. 2 芸術、音楽、家政、体育等の教員養成

資料(4)に戻るが、芸術分野の教員は、17すべての特別教育学部の芸術教育学科で養成されている。入学要件はBECUHIによって指名され、かつGSSC試験ないしはその学部での試験での実地の適性テストにパスしなければならない。(芸術教師の養成は、ヘルワン大学芸術教育学部、メニア大学教育学部芸術学科[devison]、アシュート大学教育学部芸術学科においても行われる。入学条件はGSSCを有し、それぞれの学科で行われる実施テストの適正にパスすること。)

音楽教員も、資料(4)に示されているように15の特別教育学部の音楽教育学科において行われている。登録条件はGSSCを有し、かつこの学部で行われる音楽教育の適性テストにパスすることである。(音楽教師の養成はヘルワン大学音楽教育学部においても行われている。登録条件はGSSCを有し、BCUHIによって用意される音楽適性テスト[楽器と声楽]にパスすることである。)

家政学教員の養成は、16の特別教育学部の家政学学科にて行われている。またスエズカナル大学イスマイリア教育学部家政学科、ヘルワン大学家政学部(カイロ)、メノフィア大学の家政学学部にも養成している。

体育教員の養成はダミエッタの特別教育学部体育教育学科において行われている。登録条件はGSSCを有していること、またポートサイドの体育教育学部で行われる体育教育適性テストにパスすることである。(体育教師の養成はアレキサンドリア、アシュート、タンタ、マンスーラ、ザカジーク大学の体育学部、ヘルワン大学のカイロ校の男子および女子の2体育学部、スエズカナル大学[ポートサイド]の男子体育学部においても行われている。登録条件はGSSCを有し、それらの学部で行われる体育の適性テストにパス。期間は4年間。終了の暁にはB.Sc学位。)

単級学校 (one-class school) の教員 (主にへき地での女子教育教員) はザカジークの特別教育学部で養成されている。入学条件は GSSC を有し、インタビューにパスすることである。

### 3. 3 幼稚園教員養成

先に触れたように、幼稚園教師の養成は師範学校で行われていたが、1988年から大学レベルで行われている。対象学生はすべて女性である。それらの養成機関は大きく2種類に区分される。第1は広い意味での特別教育学部 (specific facilities of education) グループに所属するものであり、それらはさらに2つのグループに分けられる。一つは独立した幼稚園学部であり、2校ある。カイロ (ドッキー) で行われているもの (1988年8月15日付け教育省令第878号によるもの) と、アレキサンドリア行われているもの (1988年10月8日に出された教育省令第1075号によるもの) である。もう一つは特別教育学部の中の1学科として設けられているものである。次の9つの特別教育学部に配置されている。ファイユーム、アシュート、ケナ、カファルシーク、マンスーラ、ミートガモル、ムニエツアルナセル、ベンハー、ポートサイドにあるものがそうである。第2は、11の大学の教育学部において設置されているものである。このグループは規模のレベルから2つにグループ化される。一つは次の9つの教育学部に設置されているものである。アレキサンドリア大学ダマンホール校教育学部、アンシャムズ大学女子教育学部、アシュート大学教育学部、タタ大学教育学部、マンスーラ大学ダミエツタ校、マンスーラー校、ヘルワン大学教育学部、メニア大学教育学部、カナルスエズ大学イスマイリア校である。もう一つはメノフィア大学シェビナルコム教育学部幼稚園研究学科、南ヴァリー大学スーハーグ教育学部児童教育学科にも設置されているものである。

これらのいずれの学部および学科も、受け入れ資格としてGSSCの保持者ないしはその相当者であり、かつそれぞれの学部や学科によって行われるインタビューにパスした者である。

いずれも履修期間は4年間であり、課程を首尾よくに終了した生徒は学士 (B.Sc certificate) が授与される。

### 3. 4 特殊教育教師の養成 (小学校、準備学校の場合)

特殊教育教師の養成はアップシア特殊教育学部での特殊教育学科にて養成される。

障害をもつ生徒のための特殊教育学校 (special education school) および特殊教育学級の制度については、1990年教育省令第37号にしたがって再組織された。その第25条は教育省は特殊教育およびハンデキャップの教育領域の組織することについて次のように述べている、という。

A (ビデオ、視聴聴覚、精神教育) の学科での特殊教育デプロマを得るために1年間の基礎教育 (小学校、準備学校向け) での特殊教育を供給。

B 盲や目を悪くした小学校、準備学校の子どもたちの教育のための特殊研究の証明書 (certificate) を得るための、1年間のコース。登録条件は教師であり、少なくとも3年間の経験が必要である。特殊教育の教師は優先される。

特殊教育教師はアンシャムズ大学教育学部においても養成されている。それは1990-91年にスタートした特殊教育デプロマを得る高等研究組織である。1995年に出された学部規定によれば、生徒はエジプトの大学からの教育の普通デプロマ、芸術教育学士 (B.A)、科学および教育学士 (B.Sc)、芸術学士 (B.A)、科学学士 (B.Sc) を有していることを記している。履修期間は1年間である。

カイロ大学教育学部 (IESR) は、1933-94年学期年度から特殊教育教師を養成するコースを刷新した。履修後は一般教育デプロマないしは特殊教育デプロマが授与される。

### 3. 5 ダミエッタ特別教育学部について

エジプト滞在中ダミエッタの特別教育学部を訪問する機会を得た。当教育学部のディーンはまだ40代で大学運営に意欲的かつ率直な人物であった。日本の大学との姉妹都市校提携を希望されていた。大学については、当大学が率直に認めている諸問題とほぼ同じ内容のことを印象として抱いた。それは以下のことである。

(1)ティーチング・スタッフの不足, (2)事務官の不足, (3)定期発行物, 日刊新聞の不足, (4)ティーチング・スタッフ, 事務官以外の働き手の不足, (5)財政の不足, (6)奨学金の少なさ。

同大学のティーチング・スタッフの数, 卒業生数, 学生数については資料(6)の通りである。幼稚園学科の教育課程についても資料(6)の通りである。(この教育課程は高等教育省の統一規則に従っているもので, 全国の幼稚園教員養成課程と同じである。但し具体的な教授内容は教師によって異なる。)

同大学についての更に詳しい内容については資料(7)および(8)参照。

さらに筆者は高等教育省のある高官と面会し対談をする機会に恵まれた。その内容は、記述のものと同なる部分を含むが資料(9)の通りである。

## 4. 大学レベルにおける技術高等学校および職業学校教員養成へ

### 4. 1 技術高等学校(農業, 商業, 工業)教師の養成—教育学部の教育デプロマ要請

改革以前は大学の農学部, 商学部, 工学部を卒業した者は直ちに教員の道へ進めた。しかし新制度では総合大学での教育学部やカイロ大学教育学部(IESR)での1年間の学習により教員資格を取得することが求められるようになった。そうしたコースではその専門性にしがたい「技術高等学校での教育および訓練一般デプロマ」が授与される。技術高等学校の教員は, 専門の殻に閉じこもるだけでなく教育にたいする理解も求められるようになったといえよう。

### 4. 2 特に工業高等学校教員養成教育について—新しいタイプの大学への模索

エジプトの後期中等教育の特徴は, 技術高等学校(含職業高等学校)の学校数が全高等学校数の53.39%を占め, かつ生徒数の割合は約68.57%と高い割合を占めていることである。(注3)技術高等学校の中でも特に工業高等学校は, 政府の政策により, 生徒数および学校数が急増したために教員不足が生じた。しかし教員は給与が低く, 社会的地位も低いため, 魅力に欠けた職業の一つであった。(現在もその傾向は否めない。)したがって, 大学の工学部や5年制の工業高等学校で学んだ者は教員になる道を好まない傾向が強かった。そこで3年制の技術高等学校を卒業した者を教員に養成する産業教育大学が1992-93年にカイロに, 1993-94年にはベニスエフに設立された。この2大学の教授スタッフは理論学習を監督する一方, 各学校での教育実習の監督も行う。この実習プログラムは3, 4年生時に行われる。それはこの大学のメリットの一つで, 技術教育における理論と実践の統一である。それまで理論を教える大学の工学部出の教員は理論面では強いが実戦面では全く疎く, かつ具体的操作ができないということが指摘される一方, 実習を担当する工業高等学校卒教員(3年制の技術高等学校卒業プラスその施設での2年間の学習)は実戦面では強いが理論面では弱いということが指摘されてきた。そこで, この新しい大学は理論と実践のバランスのとれた新しいタイプの教員養成をねらうことが意図されている。さらに大学出教員と工業学校出の教員による教えることの違い, 双方のグループ間の交流の欠如が指摘されてきた。この新しい大学はそうした問題の解決という意図もある。

これら2つの産業大学への入学要件は3年生職業高等学校を卒業していること, 特別の協力局からの指名があること, そしてインタビューにパスすることである。4年間で教育B.Sc.(産業教育専門)が与えられる。

#### 4. 3 職業準備学校教員の養成

エジプトではいわゆる準備学校の他に、職業準備学校が設けられている。この学校は、小学校で学習について行けず、上の学年に進めない生徒や、中学校の1, 2年で上の学年に進めない生徒が在籍している。また、耳の不自由な生徒のための職業準備学校もあることになっている。この種の学校は、当然のことながら、職業にかかわる授業が多く設けられている。

こうした職業準備中学校教師のために、3年生職業高等学校（農業、工業、商業）履修後、さらに同施設に付属した2年コースが設けられている。また3年制農業高等学校デプロマを有し、農業活動を指導しなければならない教師に夜間コースが設けられている。

家政学の女教師は16の特殊教育学部におかれている家政学専攻で養成される。さらにヘルワン大学家政学部、モノフェイア大学家政学部、スエズカナル大学、イスマイリア教育学部家政学科でも養成される。[この3つの大学への入学条件は、普通高等学校のデプロマを有し（科学分野の）、個人インタビューにパスすることである。実際には希望者は少ないと推測される。]

#### 5. その他の教員養成

##### 5. 1 コンピュータ教師の養成—国家教育工学プログラム（NET PROGRAMME National Education Technology Programme）

エジプト教育省は全国の小学校、中学校、高等学校にコンピューターの導入を計画している。その計画を人材の側面から推し進めるために、1995年6月に国家教育工学プログラムが設けられた。

国家教育プログラムはカイロ市内にあり、かつてのヴィラ（城）だった建物を（賃貸）使用している。

このプログラムは2つの側面を持ち、内閣（Cabinet:Information and Decision Support Centre）に直属する一方、カイロ大学教育学部に所属している。

対象学生は全国の大学卒業生で、課程修了後はカイロ大学よりデプロマが授与される。課程は1年間である。

#### 6. 結びにかえて—教員養成における諸問題

教員養成とかかわる幾つかの問題をとり上げ、結びとしたい。

第1に「教員養成は大学レベルで」という高い理念の実行に伴い、エジプト政府は財政上の問題を抱えることになった。エジプトでは国立大学の授業料は無料である。毎年必要とする小学校の教員数は中学校、高等学校の教員を合わせた数の約2倍である。従って大学は3倍の数の教員を育てなければならない、ということになる。（1992-93年学校年度には17,000人の学生が、全国の総合大学の教育学部に入学している。これは大学入学者全体の15.5%に当たる。教育省は先の教育大臣 Sorour 以来、国立大学の学生数を増加する政策をとっている。一方、教育予算の不足の皺よせは初等教育に現れている。つまり教育における質と効率が低く、文字の読み書きのできない子どもたちが多い。そこで大学の授業料を有料化し、もっと義務教育に経費をかけるべきだとする論文が、筆者がエジプトに滞在していた折り、新聞紙に掲載されていたが、同感である。）

第2に（大学の）教育学部が学生数の上で、教員の需要と供給のバランスを取ることにかわりを有していない。例えば、哲学、歴史、数学の教科では教員が過剰でアラビア語、宗教では不足している。このことは教育学位（education degree）を有するが、教える教科の資格をもっていない、ノン・スペシャリストを採用する、ということの意味する。そうしたことは中学校、高等学校で珍しいことではない。

第3に（大学）の教育学部における理論と実践の乖離の問題である。教育学部の教授は他学部の教授と同じ昇進の手続きを取るため、理論的研究に重点がおかれ、教育現場と深くかかわり、実践的研究をすることの妨げとなっている。

第4に大学は自治権を有しているため、教育学部のカリキュラム等に関する全国统一規定を有していない。従って、教育省が求める新しい教育改革（カリキュラム、教育方法等の変革）に対して緩やかな対応しかできない。このことは大学が、新しい教材に対して意識の低い、若い現場の教師を生む可能性をもっていることを意味する。

第5に特殊教育学部は教育省の意図がより直接に及ぶ高等機関ではあるが、スタッフ、施設・設備の面での充実が求められている。

第6にエジプトの大学レヴェルの教育は制度としては理想が高く立派であるが、より教育の実質を高めて行くことが必要である、と筆者には強く思われる。教育の方法、内容、テキスト、研究誌等を充実し、教育の内実を創って行くことが求められている。

しかし、エジプトはある意味では教育立国で、数多くのアフリカ、中東の大学の学長、研究者を輩出し、アフリカ、中東の教育に多くの貢献をして来ていることも確かであることを付け加えておく。

エジプトにはJICAの仕事で6ヶ月滞在した（1996年3月－9月）。横関佑美子氏と共に仕事ができただけは幸いであった。3ヶ月という期間ではあったが猛烈な仕事の仕方から学んだことは多い。感謝申し上げたい。

#### <注>

（注1）本報告ノートは次の2つの資料に大きく依存している。

- National Centre for Educational Research and Development, Development of Education in Arab Republic of Egypt 92/93-93/94, Cairo 1994
- National Centre for Educational Research and Development, Development of Education in Arab Republic of Egypt 1994/95-1995/96, Cairo 1996

また当然のことながら他の第1次資料はアラビア語で書かれたものが多いが、基本的にそれらは資格を有するエジプト内の翻訳会社を通して英語に直してもらい、それを用いた。

本報告ノートのねらいは、いわゆる比較教育学的な研究ではなく、今日のエジプトの教育養成の実態を報告することにある。

現在、北海道教育大学は全学体制でエジプトに対し国際教育協力（JICAミニプロ技術協力－平成9年12月1日 - 2000年11月30日の3年間）事業を進めている。小学校理科・算数教育に関する授業ガイド、教材ガイドを編集する事業に取り組んでいる。この協力は、将来教員研修への協力へと発展していくものと個人的には予測している。従って、これはそのための基礎的な作業である。

（注2）未整理の本が多く見られた。また古い資料は紐で束ね本棚に押し込まれていた。

図書館のスタッフは10名で資料数は10,000の及ぶとのことであったが、正確な数はわからないとのことであった。定期刊行物としては若干の例をあげるならば Journal of Educational Psychology, Comparative, Comparative Education Review, Teaching and Learning, The Journal of Special Education, Language Teaching, Learning and Motivation, Journal of Learning Disability, Adult Basic Education, College Teaching など、実に豊かであった。

（注3）エジプトの技術教育については、拙稿「エジプトアラブ共和国の教育－教育制度と大学前教育について－」[年報岩見沢 第18号]北海道教育大学岩見沢校、1997年3月 p.9 参照

＜資料1＞

資格とジェンダーから見た教員数

小学校 1991-92

県名	大学のデグリー						高校以上のデグリー						高校レベルのデグリー						他のデグリー			総教員数		
	教育デグリー			教育外のデグリー			高校以上のデグリー			教育デグリー			教育外のデグリー			高校レベルのデグリー			男	女	合計	男	女	合計
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
	681	1618	2299	630	3615	4245	3485	7860	11345	2302	474	1211	1685	73	532	605	7645	21411	29056					
アレキサンダリア	157	494	651	198	1194	1392	1445	4165	1020	3040	4060	410	1006	1416	49	374	423	3279	10273	13552				
ベヒーラ	5	3	8	17	49	66	2886	2592	4133	8342	2626	412	3038	57	60	117	9724	7325	17049					
ガルベイヤ	224	215	439	38	116	154	2548	3004	2802	6321	1213	292	1505	64	79	143	6889	7225	14114					
カファルシーク	10	8	18	12	13	25	2321	2524	2269	4608	462	149	611	56	60	116	5130	5093	10223					
メノフィア	19	85	104	23	32	55	1203	1791	3453	4908	8361	1224	328	1552	61	61	122	5983	7205	13188				
カリュービア	84	71	155	56	290	346	2076	2915	4028	5243	9271	869	364	1233	20	48	68	7133	8931	16064				
ダカリヤ	139	139	278	56	148	204	579	988	7190	12236	19426	1386	675	2061	114	109	223	9464	14295	23759				
ダミエッタ	48	67	115	7	25	32	52	54	2215	4005	6220	318	297	615	1	18	19	2641	4466	7107				
シャルキータ	272	164	436	73	84	157	2690	2948	5176	5926	11102	612	279	891	45	61	106	8868	9462	18330				
ポートサイド	32	76	108	5	55	60	882	1636	83	222	305	118	116	234	7	46	53	1127	2151	3278				
イスマイリヤ	34	39	73	20	39	59	906	2231	218	364	582	133	118	251	21	44	65	1332	2885	4167				
スエズ	13	16	29	15	50	65	238	800	319	1205	1524	66	81	147	5	12	17	656	2164	2820				
ギザ	353	574	927	319	1708	2027	1553	2259	3233	5456	8689	466	607	1073	20	119	139	5944	10723	16667				
ファイユーム	17	13	30	10	31	41	868	513	3281	2919	6200	805	397	1202	33	9	42	5014	3882	8896				
ベニスエフ	18	22	40	1	0	1	30	34	2958	2901	5859	875	153	1028	0	0	0	3882	3110	6992				
メニヤ	82	161	243	95	213	308	2534	1767	4031	2553	6584	1770	435	2205	134	108	242	8646	5237	13883				
アシユート	219	81	300	47	154	201	3929	2991	1316	1238	2554	775	239	1014	34	27	61	6320	4730	11050				
スーハーグ	2	9	11	19	53	72	2330	958	6041	4016	10057	546	112	658	24	60	84	8962	5208	14170				
ケナ	5	40	45	11	36	47	2780	1282	5863	2596	8459	1579	132	1711	41	35	76	10279	4121	14400				
ルクソール	0	0	0	1	8	9	93	94	276	270	546	53	30	83	3	12	15	426	414	840				
アスワン	4	149	153	0	3	3	843	840	1897	1901	3798	579	208	787	35	54	89	3358	3155	6513				
マットルーフ	10	0	10	5	9	14	323	343	312	150	462	24	3	27	3	15	18	677	520	1197				
ニューヴァリー	0	0	0	0	0	0	137	102	991	1212	2203	67	7	74	7	2	9	1202	1323	2525				
紅海	3	16	19	0	9	9	139	113	336	333	669	6	9	15	4	3	7	488	483	971				
北シナイ	1	10	11	2	5	7	902	557	236	76	312	68	22	90	11	0	11	1230	670	1890				
南シナイ	0	0	0	0	1	1	10	1	245	77	322	17	3	20	1	0	1	273	82	355				
総計	2432	4070	6502	1660	7940	9600	37782	45362	66224	79489	145713	17541	7685	25226	923	1948	2871	126562	146494	273056				

上記のデータによれば、1991-92学校年度の全小学校教員は273,066人で、そのうち大学卒業以上は16,102人で5.8%を占め（教育の学位取得者6,502人[2.3%]、その他の学位9,600人[3.5%]）、中等学校（高校）以上の学位取得者は83,144人で36.3%を占め、中等学校卒業者は170,989人で62.6%を占め（師範学校卒業生145,713人[53.3%]、師範学校以外卒業生25,226人[9.2%]）、その他2,871人(1.0%)である。この表に示されているデータはまだまだ大学で養成された教員が出ていない時点のもの故、教員養成が大学で行われる以前の資料として興味深い。

MINISTRY OF EDUCATION  
EDUCATIONAL STATISTICS 1991-1998  
P. 93より

〈資料2〉 全国教育学部名と学生数統計（1994-1995）

大 学 名	学部レベル			大学院		教授スタッフ			総計
	合格	登録	卒業	登録	卒業	教授	助教授	教員	
カイロ IESR	—	—	—	—	—	—	—	—	20
カイロ ファイユーム	612	2942	767	279	180	18	29	72	119
カイロ ベニスエフ	595	2360	430	136	—	—	—	10	10
アレキ アレキ	1391	5814	1239	270	198	27	43	50	144
アレキ ダマンフル	1073	3865	398	389	266	5	6	23	34
アレキ マルサ ポートラ	76	466	—	—	—	—	—	—	—
アンシャムズ アンシャムズ	1707	8240	1087	2926	1289	67	67	169	303
アシュート アシュート	1164	6863	662	1897	428	17	15	57	80
タンタ タンタ	1476	8532	1622	2001	1176	15	17	64	96
タンタ カファルシーク	969	3608	638	367	149	4	10	59	78
マンソーラ マンソーラ	1971	8899	960	1214	704	22	22	53	97
マンソーラ ダミエッタ	1066	6175	659	449	137	9	11	29	49
ザガジーク ザガジーク	1287	6849	1063	1574	768	5	33	77	127
ザガジーク ベンハー	943	4108	1177	471	312	4	10	52	66
ヘルワン メニア	796	2863	261	471	171	11	8	51	70
メノフェイア シェビンアルコーム	871	3318	708	180	43	13	23	61	97
スエズカナル イスマイリア	349	1583	302	452	188	5	8	16	29
スエズカナル スエズ	253	1070	134	—	—	—	1	15	16
スエズカナル アリッシュ	254	1283	181	50	3	4	6	40	50
スエズカナル ポートサイド	272	1126	294	102	—	2	1	12	15
サウス ヴァリー スハーグ	1421	4715	722	426	255	8	13	30	31
サウス ヴァリー ケナ	746	3610	634	812	336	1	5	14	20
サウス ヴァリー アスワン	442	2175	512	267	89	3	2	22	27
総 計	23630	101317	16543	16934	7041	266	362	1083	1711

(Ministry of Education 1996 Statistics 1995/96より)

- \* 上記資料で IESR とあるのは Institute of Educational Studies Researches の略でカイロ大学教育学部（カイロ）のことである。他の学校は全て University である。また、カイロ ファイユームとあるのはカイロ大学ファイユーム分校を意味する。アレキ アレキというのは同様にアレキサンドリア大学アレキサンドリア本校を意味し、アレキ ダマンフルというのはダマンホール分校を意味する。
- \* 1994年の段階でエジプトには12の国立総合大学があると記述されていることが多いが、それは分校毎に数えていない場合である。上記の教育学部もそのように考えると12となる。

< 資料 3 >

カイロ大学教育学部ベニスエフ分校訪問：6月22日（土曜日）10：00－14：00

主な面会者：Ali Hussein Hassan 教育学部長（専門は英語教育，応用言語学。）

ベニスエフ（Beni - Suef）には次の8学部がカイロ大学分校として分散している。教育学部，商学部，理学部，法学部，文学部，獣医学部，医学部，薬学部である。1997年9年には歯学部が開設予定とのことである。教育学部は学生数では一番大きな学部で，商学部がそれに次ぐ。最近，教育学部は人気が高まり，医学部，薬学部に次いで人気がある。理由は卒業生は全てすぐ教師となれるためである。

教育学部の建物はもと高等学校であったものを譲り受けた。将来は（期日のめどは立っていないが）東方向の場所に移動予定。将来の夢としては分校から自立した大学となることである。財政等が異なるからである。

教育学部の設立は1988年の8年前。もとは小学校の教師のための教育を主としておこなっていた。現在は主に中学校の教師のための分校である。英語，アラビア語，物理，数学，フランス語，社会科等の教員養成を行っている。

学部学生総数は，小学校教員養成コースで約2,500名で，小学校1,2,3年生向け（low stream）と4,5年生向け（upper stream）の学生を含んでいる。中学校教員養成コースは約2,800－2,900名である。また，1997年10月に幼稚園教員コースを開設予定で，学年定員は60名である。

大学院生は学年定員はgeneral diplomaとspecial diplomaコースで計200名，修士コース10名，博士コース5名である。

スタッフの構成としては，教授は学部長のAli Hussein Hassan氏のみ。他は助教授（assistant prof.）並びに講師。8名の講師。現在5人のスタッフをリクルート中。スタッフが不足しているのでカイロ大学ベニスエフ分校の諸学部に非常勤を依頼。

学部長は5名のPhdコースの学生中3名を指導している。（3名の研究テーマの内訳は英語教育法，一般カリキュラム研究 [general curriculum studies]，幼稚園のプログラムの国際比較研究：イギリス，アメリカ，日本，エジプトを通して，ということであった。）

学部長は週4日，ギザから通勤しているが，他の多くの教官もカイロより通勤。

学生はこのベニスエフ県や近くの県，例えばメニア県から集まっている。通勤困難な学生のために男子用，女子用の寮が一つずつある。卒業後はベニスエフで働いて欲しいが強制力はない。

教育学部の教育内容については，全国统一されたカリキュラムはなく，各大学がそれぞれに編成している。ベニスエフ分校も独自に編んでいる。各教科のシラバスは小中学校の各教科のシラバスに準じている。（Ali Hussein Hassan 学部長は統一されたカリキュラムの必要性を強く認識しているとのことであった。）ベニスエフ分校では4年毎にカリキュラム改定しており，1998年9月に改定予定，とのことであった。

筆者が訪問した際，教育学部の17の教室を見学したが，いずれも出入りが共通でただ1つであった。また，訪問が試験期間であったので，その光景を観察する機会に恵まれた。受験学生は大学院の学生でIDカード，バッグを教室の前の部分に置き，試験を受けていた。科目は発達心理学で3教室でそれぞれ44人，40人，48人が受けていた。

ベニスエフ分校を訪問しての印象は，教員や学校施設に対しての学生数の過多ということであった。

〈資料4〉 特別教育学部学校名及び設置学科名：特殊教育学部(17校)と幼稚園学部(2校)の内訳

A. 〈特殊教育学部について〉

大学名	教育メディア	音楽教育	美術教育	教育工学	家政科	幼稚園	体育教育	英語教育
アッパーシニア	○	○	○	○	○			
ドッキー	○	○	○					
アレキサンドリア	○	○	○					
タンタ	○	○	○	○	○			
ケナ		○	○	○	○	○		
ポートサイド	○	○	○	○	○	○		
アッシューモン	○	○	○	○	○			
アシュート		○	○	○	○	○		
ミュニエットエルナセル (マンスーラ)	○	○	○	○	○	○		
ダミエッタ	○		○	○	○	○	○	○
ファイユーム			○		○	○		
マンスーラ	○	○	○	○	○	○		
ミートガモル (ダカリヤ)	○	○	○	○	○	○		
ベンハー	○	○	○	○	○	○		
ザガジーク	○	○	○	○	○	○		
メニア	○	○	○	○	○	○		
カファルシーク	○	○	○	○	○	○		

\* 上記の表の○の印しは、学科が設置されていることを示す。

\* ザガジークでは、さらに単級学校 (one-classroom school) 教師科が設置されている。

B. 〈幼稚園学部〉

ドッキー幼稚園学部

アレキサンドリア幼稚園学部

(Ministry of Education, Office of Statistics 1996 より作成)

〈資料5〉 特別教育学部講座別新入生数 (全国総計) 1994-1995

講座名	男性	女性	総計
家政科	0	1062	1062
美術教育	366	832	1197
音楽教育	147	336	483
教育工学	1052	338	1390
教育メディア	360	471	831
幼稚園	0	708	708
単級学校(one-classroom)教師	0	43	43
体育教育	49	0	49
英語教育	54	105	159
トータル	2028	3945	5973

(Ministry of Education, Office of Statistics 1996 より作成)

\* one-classroom school のための講座はザガジーク特殊教育学部に設置されている。

＜資料6＞ ダミエッタ特別教育学部

＜1995-96年度 学部のスタッフ並びに助手の数＞

学 科	数					総 計
	テーチング・スタッフ			アシスタント		
	教 授	助教授	講 師	助講師	デモンストレーター	
芸術教育	—	—	1	1	8	10
家政学	—	—	1	—	5	6
教育情報	—	—	—	—	3	3
教育工学	—	—	—	—	1	1
幼稚園	—	—	—	2	—	2
英語	—	—	—	—	—	—
体育	—	—	—	—	—	—
教育セクション	—	—	1	—	—	1
総 計	—	—	3	3	17	23

＜1995-96年度特別教育学部の学生数＞

学科	性	1 学年			2 学年		3 学年			4 学年		総 計			
		新入生	落第	総	落第	総	落第	総	落第	総	エ	外国人	総		
家政学	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	45	2	47	19	1	20	45	2	47	88	—	88	—	—
	総	45	2	47	19	1	20	45	2	47	88	—	88	—	—
芸 術 教 育	男	34	5	39	22	2	24	35	3	38	19	2	21	—	—
	女	95	1	96	31	1	32	43	1	44	42	1	43	—	—
	総	129	6	135	53	3	56	78	4	82	61	3	64	—	—
教 育 情 報	男	26	8	34	101	7	108	23	1	24	36	2	38	—	—
	女	28	6	34	26	2	28	86	—	86	26	1	27	—	—
	総	154	14	68	127	9	137	109	1	110	62	3	65	—	—
教 育 工 学	男	157	13	170	68	4	72	46	—	46	—	—	—	—	1
	女	285	6	291	177	1	178	48	—	48	—	—	—	—	—
	総	442	19	461	245	5	250	94	—	94	—	—	—	—	—
幼 稚 園	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	80	17	97	68	1	69	62	—	62	—	—	—	—	—
	総	80	17	97	68	1	69	62	—	62	—	—	—	—	—
体 育	男	84	4	88	45	—	45	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	総	84	4	88	45	—	45	—	—	—	—	—	—	—	—
英 語	男	130	32	162	20	—	20	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	271	28	229	63	—	63	—	—	—	—	—	—	—	—
総 合 計	男	431	62	493	256	13	269	104	4	108	55	4	59	929	2
	女	804	59	863	384	6	390	284	3	287	156	2	158	1698	—
総 計		1235	121	1356	640	19	659	388	7	395	211	6	217	2627	2

( \* 総計の箇所ではエとあるのはエジプト国籍学生で、外国人というのは留学生を指す。

\*\* 記入されている数字が明らかに違っている箇所がいくつかあるが、資料の数字をそのまま記入した。)

(ダミニエッタ特別教育学部より入手資料)

## ＜資料7＞ ダミエッタ特別教育学部 幼稚園学科プラン（4年課程）

教 科	理論	実践	総計	
教育並びに心理学入門	4	—	4	1学年のみ
幼稚園の統制(コントロール)入門	4	—	4	1, 3学年
心理的成長	4	—	4	1, 3学年
幼児の組織化	4	—	4	1, 3学年
子どもの健康	4	—	4	1, 3学年
他言語における読み	4	—	4	1, 2学年
フィールド・トレーニング	—	4	4	1学年から4学年
遊戯心理学	4	4	8	1学年
スポーツの基本能力(技量)[ジムネジア]	2	4	4	1, 2, 4学年
音楽の基本能力(技量)	4	4	8	1, 2学年
芸術(アート)の基本能力(技量)	2	2	4	1, 2学年
幼稚園における活動のカリキュラム	4	4	8	1学年
アラビア語と文学	4	—	4	1, 2学年
子どもの成長と必要	4	—	4	2学年
精神と学習の成長	4	—	4	2学年
コンピューター入門	2	2	4	2学年
言語心理学	4	—	4	2学年
子どもの看護法ないしは子どもの教育(法)	4	4	8	2学年
幼稚園における教育工学入門	4	4	8	2, 3学年
比較教育学	4	—	4	3学年
心理ガイダンス(相談)	4	4	8	3学年
ポピュラー・アートと伝統文化	2	4	6	3学年
子ども劇場	2	4	6	3学年
植物と動物	2	4	6	3学年
図書館と子ども博物館	2	4	6	3学年
子どもの読みと書き	4	—	4	3学年
子どもの読みと書きの技法(アート)	4	—	4	3学年
アクチュアル・エデュケーショナル・ウエイ	4	—	4	4学年(健丈児と障害児)
精神(クリニカル)心理学	4	4	8	〃 〃
創造心理学	4	4	8	〃 〃
リフレッシュメント教育学	2	4	6	〃 〃
プロテクション・メディ・ケア	4	—	4	〃 〃
教育のための哲学と社会学	4	—	4	〃 〃
心理学とサポートスキル	4	—	4	〃 〃
子どもと創造	2	4	6	4学年(健丈児)
緊急医療	2	4	6	〃 〃
健丈児の問題	4	—	4	〃 〃
リサーチの輪(chain of research)	4	—	4	〃 〃
サポート教育	?	2	4	4学年(健丈児と障害児)
異常児のプロテクションの組織2	2	4		4学年(障害児)
異常児の問題	4	—	4	4学年(障害児)

(ダミエッタ特別教育大より入手資料)

\* 上記の表で、?の印は原文(アラビア語)で抜け落ちていたことを意味する。

<資料 8>     ダミエッタ特別教育学部訪問：1996年 7月20日  
                  主な面談者：Ali Saleh Gohar 学部長

スタッフは教育学部の歴史が浅いので、ほとんど外からの非常勤でまかなっている。100人以下の学生の授業では教師は1人で行う。教育実習は1つのグループは10名以内である。県のモデリアが技術的な指導に当たり、大学の教官は教授法をチェックに行き、実習校の校長またはディレクターが学校経営を指導を行う。

学生の多くは県内からの出身で、成績も優秀で社会的にも中流以上の家庭の学生である。

全員が就職できる。人気があるのはエジプト内部のニーズだけでなくアラブ諸国からのニーズのある学科である。

産休、育児のための休暇は10年まで延ばせる。(初めの3ヶ月のみ有給。)

心配していることは、将来的に教員は皆、女性になってしまうのでは、ということである。学校には男性の先生も必要ことがある。朝の朝礼のとき、また社会指導、精神指導の面では男性の先生がいた方がいいのではないか。

特に大学独自の入試というのはない。高校3年生の試験が基本になって学生が希望を書いたものを振り分ける。振り分けられた学生は面接を受ける、今一つは美術と体育に所属したい学生の学生には技能テストを行う。

大学の学期は前期、後期の2つに分けられる。1996年の新学期は9月21日である。前期の試験は1月に、後期の試験は5月に行われる。成績(評価)の方法は次の通りである。(1)理論科目 —— ペーパーテスト(80%) 平常点(20%)、(2)ある科目 —— 半分理論、半分実習、(3)ある科目 —— 理論(50%)、実習(30%)、平常点(20%)、(3)実習科目 —— すべて実習。

ここダミエッタ特別教育大学の特色は基礎教育課程の英語を教える課程があることである。特別教育学部としては最初にできた。それまで英語は中学校と高校のみで、小学校の英語を教えるのは初めてである。英語は小学校へ2年前に4、5年生に導入された。現在、教育大臣がエジプトの教育を改革しようとして、小学校に英語の他にコンピューターを導入しようとしている。

教育実習は幼稚園学科では1年生から始まる。見学観察のみ。2年生から少しグループを指導する。3年生から本格的な実習が始まる。他の学科は実習は3年生から始まる。3年生前期は毎週1日、学期末には1週間。4年生は3年生と同様である。

本部が置かれている校舎では夜間大学院の授業を行っている。学部の授業は他のキャンパスにて行っている。(筆者は、双方の校舎を訪問する機会に恵まれたが、共に好感のもてるキャンパスであった。学部の授業が行われている校舎の壁には美術学科の学生による見事な絵が描かれていた。また双方のキャンパス構内には学生の芸術作品が置かれており、親しみのもてる大学であった。)

幼稚園科に続く家政科の廊下や教室にもエプロン、赤子のための洋服、パッチワーク等、学生の作品が展示されていた。しかしミシン(エンジンがブラザーで機械はマンガシン)が3台しかなく、学生が実際にミシンを使用できる機会は少ないのではないかと思われた。家政科には男性の教師もいるとのことであった。

教材教室(展示室)には芸術科の学生の作品が所狭しと展示してあった。木材、革、粘土等を材料とした作品も含まれていた。

その他、保健室、食料保存庫、科学実験室、理科の実験室、図書館、学部用コンピューター室と図書館用コンピューター室を見学。(図書館のコンピューターは7台。機種:カスタ。)

<資料9> 高等教育省訪問：6月12日 10:00 - 11:20 am  
 面会者：高等教育省次官 Adeal Hafifi 氏

(大学)の教育学部は自立し学部が自分の学部を担当。しかし、特別教育学部は教育省と直結している。教育大臣は文部省と高等教育省の双方に係わっている。大臣は特別教育学部高等評議会の理事長である。

高等教育省は、基本的には小学校、中学のための音楽、芸術、家政科などの教員を養成する。

特別教育学部の中には科と言っても部と言ってもよいが、例えば美術、音楽、家政科、教育工学、教育報道 (educational information: 内容としては学校の中で雑誌、新聞、壁新聞の作成、テレビサークルの活動を行う)がある。さらには幼稚園科もあるが特別な幼稚園学部もある。教育工学、教育報道科を卒業した者は、勤務校ではそれだけに専念する。

各専攻に入るためには成績だけでなく、それぞれの専攻に必要な特別(能力)試験がある。音楽の場合、少なくとも入る前に音楽の知識が必要。美術の場合も関連能力が必要。その他の学科でも書類審査だけと言う訳にはいかず、インタビューが求められる。と言うのは、学校の教師になるため実際に面接して教師として相応しいか——話し方などがしっかりしているか等を見る。また幼稚園教師は女子のみ。理由は学校入学前の3歳児からの子を扱うため、母性的であることが求められる故。さらに家政科は女子が優勢(後で女性に洋裁、食事の作り方を教えるため)。学科によっては高校での理科系を求める——例えば家政科。理由は科学が含まれている故、高校からそうした知識をもった方が好ましい。こうした学部が広がるよう注意を払っている。

卒業生は教育省の学校で働く。できるだけ地元の人が地元の大学ないし近い大学に入り、地元の学校に務められるようにと全国に作った(学生の負担を考慮)。卒業生のメリットは政府が必ず仕事を世話をすることである。地元外で働きたいときはそれまでの学費を返却しなければならない。返却しないためには最低5年間は働かねばならない。

特別教育学部卒業生は教育省だけでなく他の省庁でも、特に音楽や美術ができる人を欲しがる。さらに、アラブ諸国からの求人もある。特別教育学部での教育はピアノなど経費を要する。その他、機材、木材、銅、貴金属、溶かす棟などの経費がかかる。家政科でも肉、野菜、生地などにも経費がかかる。実習科目が多いので学生数は少ない。学生が払うお金は1年間に30エジプトポンド。無料同然である。

特別教育学部ではできるだけ普通の教育学部と重ならないようにしているが、ダミエッタで英語学科を入れたのは次の2つの理由による。(1)英語の教師が非常に少ない。(2)最近、小学校4年生から英語を教えるようになったので、急に英語の教師が必要になった。

ある学部の中で特別教育学科がある。この特別という意味は飛び抜けて優秀な子と(心身)障害児の子どもを指す。たとえばアッパシアの特殊教育学部にはそれがある。そうした学科を他にも作りたかったが教師が少なくできなかった。

特別教育学部の基本(法規)があり、教育内容(というよりも科目)と時間数が統一されている。しかしテキストは教師の自由である。入学条件も統一されている。教師は大学からの非常勤が多くを占める。

給与は大学教育学部を出た教師も特別教育学部を出た教師も同じである。

教員採用試験等はない。教育学部での勉強と、軍隊の経験の確認で教師になれる。

教育学部で小学校の教師養成の学科を作るとき反対が多かった。基礎学部(小学と中学の教師用)にして欲しいとの要求が強かった。小学校教師は人気がない。初め小学校でも中学校に移行できるようにして欲しいという要望が強い。